

令和6年度 呉市の予算額

会計	内容	予算額
一般会計	税金などをもとに、教育、福祉、消防、都市基盤整備などの事業を行うものです。	1,089億6,000万円 (前年度比2.5%増)
特別会計 (15会計)	特定の収入で事業(国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、港湾整備など)を行うものです。	520億6,226万円 (前年度比6.0%減)
公営企業会計 (4会計)	サービスを利用した人の料金収入などで事業(病院、水道、工業用水道、下水道)を行うものです。	280億5,245万円 (前年度比15.2%増)

一般会計は、小・中学校における空調整備の進捗により教育費が減少した一方で、大和ミュージアムの大規模リニューアルの実施や、社会福祉施設などの整備に対する助成の増額などにより、これまで最大の予算規模となっています。

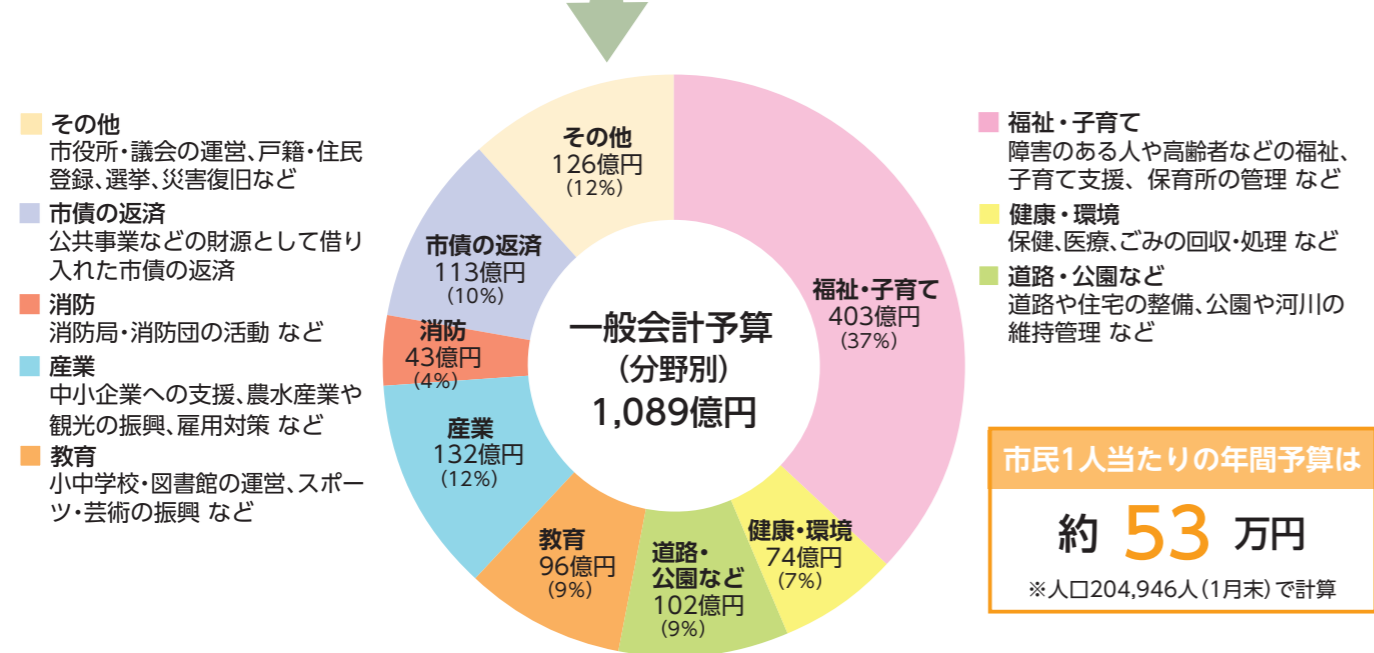
一般会計の中身は？

歳入 (1,089億6,000万円)		歳出 (1,089億6,000万円)	
その他の収入 53億1,700万円	貸付金の返還金や預金利息など	その他の経費 48億700万円	貸付金や将来のために積み立てるお金など
市債 133億5,600万円	主に公共事業の財源として長期に借り入れるお金	投資的経費 など 190億2,200万円	道路や公共施設などの整備・修繕に必要なお金
繰入金 19億9,800万円	積み立てていた貯金から引き出すお金など	繰出金 など 182億8,500万円	国民健康保険事業、下水道事業などに必要なお金
国庫支出金 など 317億8,400万円	公共事業や福祉事業などを行うため、国や県から交付されるお金	物件費 137億700万円	消耗品など事業を行う上での事務的な経費
地方交付税 227億円	全国どこでも同じサービスが受けられるよう、地方固有の財源から配分されるお金	公債費 113億2,000万円	公共事業などの財源として借り入れた市債の返済に必要なお金
市民税 など 338億500万円	皆さんが市に納めた市民税や固定資産税など	扶助費 245億5,100万円	児童手当や生活保護費など福祉に必要なお金
		人件費 172億6,800万円	市職員の給料や退職金など

歳入のポイント：デジタル田園都市国家構想交付金の活用による国庫支出金の増や、大和ミュージアムの整備に伴う市債の増など

歳出のポイント：大和ミュージアムの整備や、社会福祉施設などの整備に対する助成に伴う投資的経費の増など

その使いみちは？



市民1人当たりの年間予算は
約 53 万円
※人口204,946人(1月末)で計算

特集

～呉市の未来を切り拓く～

呉市の令和6年度予算

第5次呉市長期総合計画に掲げる将来都市像の実現を目指して、幸せな呉市のための施策を積極的に実施していく令和6年度予算。私たちの暮らしにつながっている「市の予算」を紹介します。



私たちのまちの未来の姿

- 質の高い生活が実現される **スマートシティ**「くれ」
- 新たなチャレンジ**でビジネスチャンスを生み育てる「くれ」
- 都会にはない心地よい暮らしが **人々を惹きつける**「くれ」
- 災害に屈しない **強靱**なまち「くれ」
- SDGs (持続可能な開発目標) を通して **豊かな未来**を創る「くれ」



そのほか「将来都市像」の実現に向けた、 8つの政策分野における主な取り組み

新規事業を中心に、各政策分野における今年度の取り組みを紹介します。

子育て・教育分野

子どもの居場所づくりと学びの環境づくり

- ・こどもまんなかキャンペーン
- ・放課後児童会にICTを導入
- ・こども誰でも通園制度(仮称)の試行
- ・教育のデジタル化
- ・スクールカウンセラーの配置

市民生活・防災分野

暮らしの安心と災害への備え

- ・地域おこし協力隊員の受け入れ
- ・自転車用ヘルメットの購入助成
- ・パートナーシップ制度の導入検討
- ・天応西条第2公園の整備、中央公園の防災整備
- ・高機能消防指令センターの改修
- ・合併20周年記念事業の実施

産業分野

新たなビジネスへの挑戦

- ・脱炭素経営の促進、脱炭素化技術の研究開発支援
- ・呉産品活用ビジネスチャレンジ応援事業
- ・環境配慮型農業の推進
- ・豊かな海の再生に向けた取り組み
- ・日鉄呉地区跡地利活用調査

環境分野

豊かな環境を次の世代へ

- ・太陽光発電システムの設置助成
- ・省エネ家電の購入促進
- ・港湾脱炭素化推進計画の策定
- ・まちづくりセンターへの太陽光発電設備導入
- ・農林道、港湾・漁湾施設照明のLED化
- ・クリーンセンターくれの施設更新

福祉保健分野

誰もが自分らしく暮らせるまちへ

- ・複雑・複合化した福祉課題への重層的な取り組み
- ・初期救急医療体制の確保
- ・がん患者医療用補正具などの購入費用助成
- ・習慣化アプリを利用したフレイル予防

文化・スポーツ・生涯学習分野

文化・スポーツ・学びの機会創出

- ・御手洗の歴史ある町並みの魅力向上
- ・スポーツ施設の再整備の推進
- ・鶴岡一人記念球場の大規模改修(カープ2軍戦の開催誘致活動の推進)
- ・シシンヨーオークアリーナの施設更新
- ・まちづくりセンターの空調改修

都市基盤分野

安全で快適に暮らせるまちへ

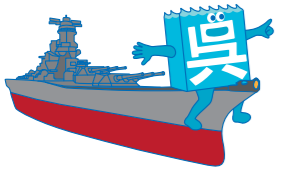
- ・既存盛土の現況調査
- ・JR安芸川尻駅のバリアフリー化
- ・道路等損傷通報システムの導入
- ・公園トイレのバリアフリー化
- ・RORO船導入に係る阿賀マリノポリス地区の整備
- ・水道管路の更新及び耐震化の推進

行政経営分野

スマートシティくれへの第一歩を

- ・主要20業務の情報システムの標準化対応
- ・BPR(業務改革)の推進
- ・「スマートチャレンジくれ」の実施
- ・職員採用の取り組み強化

“未来の呉”について
一緒に考えてクレ!



第5次呉市長期総合計画とは

令和3年度～12年度までの10年間を見据えた、市の総合的な運営指針。各政策分野で策定する各種計画の最上位に位置しており、「将来都市像」などを定めています。また、小学生を対象とした長期総合計画の子ども版を作成しており、計画を理解してもらい、呉について学び、将来を考える機会も作っています。

子育て世代に
優しいまちに

諸課題に立ち向かい、 未来を切り拓く投資

令和6年度は、次の6つの取り組みを中心に、8つの政策分野で未来を見据えた投資を行うことで、将来都市像「誰もが住み続けたい、行ってみたい、人を惹きつけるまち『くれ』」の実現を目指します。

◆令和6年度予算における6つのポイント



1 企業立地・呉駅周辺地域総合開発の推進

企業立地の推進
呉市総合スポーツセンターの産業団地への転換など、企業立地を推進

呉駅周辺地域総合開発の推進
呉駅周辺地域総合開発を推進し、呉駅の交通ターミナル整備に向けた、市所管物件の解体や移設などを実施し、新しい建物がスマートシティへの第一歩に

▲解体が進む旧そごう呉店

2 子育て・教育環境の充実

病児・病後児保育の充実
令和6年4月から病児・病後児対応型施設の利用料を無償化し、利用手続をICT化するとともに、体調不良児対応型施設を新たに11カ所開設
令和6年秋頃には、病児・病後児対応型施設を中央地区で新たに2カ所開設

学校の耐震化・トイレの洋式化
安全な教育環境を確保するために、学校の耐震化を進めるとともに、トイレの洋式化率を向上

温かい中学校給食
小学校給食施設を順次改修し、温かい中学校給食を実現

3 海洋文化都市の実現

呉市・広島大学Town&Gown構想の推進
広島大学・海上保安大学校・笹川平和財団と連携し、海洋・海事でのDX・GXや、アジアにおける新たな拠点づくりなど、「海洋文化都市くれ」の実現をめざす

▲「呉市・広島大学Town&Gown構想 海洋文化都市くれ推進協議会」設立総会

4 大和ミュージアムのリニューアル

大和ミュージアムの大規模リニューアル
博物館としてのさらなる魅力向上を図るため、大和ミュージアムの設備改修や、施設及び展示の大規模リニューアルを実施

「呉・大博覧会」の開催
大和ミュージアムの休館対策として、1/10大和の館外からの見学環境整備や仮展示室の設置、特別企画展の開催、各種イベントの拡充など

▲大和ミュージアム

5 にぎわい空間の創出

幸町地区総合整備の推進
青山クラブ・桜松館、呉市立美術館、入船山記念館が集積する幸町地区全体の魅力向上を目指して、歴史・文化・芸術の拠点として整備するため、総合整備方針の策定に向けた検討を実施

ウォーカブルな空間づくり
蔵本通りや堺川両岸の中央公園一帯の公共空間を、居心地良く歩きたくなる「ウォーカブルな空間」へと再構築するに当たり、ワークショップなどを実施

**6 引き続き、当たり前の日常を
笑顔で暮らせるために**

いきいきパスの新乗車券システムへの移行
広島電鉄が令和6年度末にPASPYを廃止して、新たな乗車券システムへの移行を予定していることに伴い、いきいきパス(敬老・障害者)利用者が、引き続き優待運賃でバスが利用できるよう対応

認知症と共に生きるまち(認知症パッケージ事業)の推進
認知症に対する偏見解消や早期受診などにつながるよう、検診や生活支援など従来の取り組みを拡充